

演題名	若齢牛に発生した成牛型牛白血病の一例		
発表者 氏名	柳澤まどか	所属	飯田家畜保健衛生所
<p>管内の肥育農家で飼養する16ヶ月齢の黒毛和種雌牛が、平成23年6月3日から41℃以上の発熱・下痢を呈し、食欲も低下。臨床獣医師が治療するも改善せず同月15日に血液検査を実施。白血球数の増加（$71,600/\mu l$）、リンパ球の増加が確認されたため、牛白血病を疑い、同16日に病性鑑定を実施。剖検所見では、全身リンパ節・脾臓の顕著な腫大、腸間膜リンパ節中心部の乾酪壊死、腎臓の褪色・脆弱化を確認。酵素免疫測定法（ELISA法）による牛白血病抗体検査では陽性。PCR検査では、血液・主要臓器等において牛白血病に特異的な遺伝子を検出。組織学的検査では、心臓・肝臓・骨髄・腎臓・子宮・脾臓・リンパ節にリンパ球様腫瘍細胞が高度に増殖し、脾臓・リンパ節では固有構造がほぼ消失。以上の結果から、本症例を成牛型牛白血病と診断。同病の一般的発症年齢より若いにもかかわらず、特徴的所見が顕著に見られたことから、貴重な症例として報告。</p>			